

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-41	中学校	社会科	地図	1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
46帝国	702	中学校社会科地図		

1 編修の基本方針

●総合的な基本方針 変化する日本と世界を広く、深く、自ら学べる地図帳

グローバル化する国際社会で活躍するための基礎教養として、地図帳の活用を通して、日本と世界の幅広い知識を身につけ、地理的事象の背景や要因までを含めて深く追究してほしい。

そのために、私たちは次の3つの基本方針のもと、編修に取り組みました。

日本と世界の理解が深まる地図帳

- ・世界の諸地域に興味をもち、イメージをつかめる鳥瞰図
- ・人々の営みを通じた日本の国土理解ができる地図表現
- ・自然災害・防災への意識を高めるさまざまな工夫
- ・地域に根付いた日本の伝統文化が学べる工夫
- ・日本の領土を正しく理解できる豊富な地図資料

誰でも見やすく使いやすい地図帳

- ・大判のメリットを生かした、つながりが確認できる地図
- ・ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した、誰でも見やすい地図
- ・鮮明で美しい印刷と軽量化に努めた用紙
- ・インクルーシブ教育への配慮

資料活用能力を高め、主体的に学べる地図帳

- ・比較を通して地域の特色がわかる世界の資料図
- ・中核となる事象を網羅した、日本の地方別資料図
- ・主体的に学べるよう、地理的な見方・考え方やそれにつながる視点を示した作業コーナー「地図活用」

●教育基本法第2条第1号に関する基本方針

1 世界の諸地域に興味をもち、イメージをつかめる鳥瞰図

- ・地域の姿をより具体的、視覚的に捉えられるように、世界各州のイラスト付きの鳥瞰図を掲載しています。

世界の鳥瞰図掲載ページ

中国とそのまわりをながめてみよう (p.25-26)

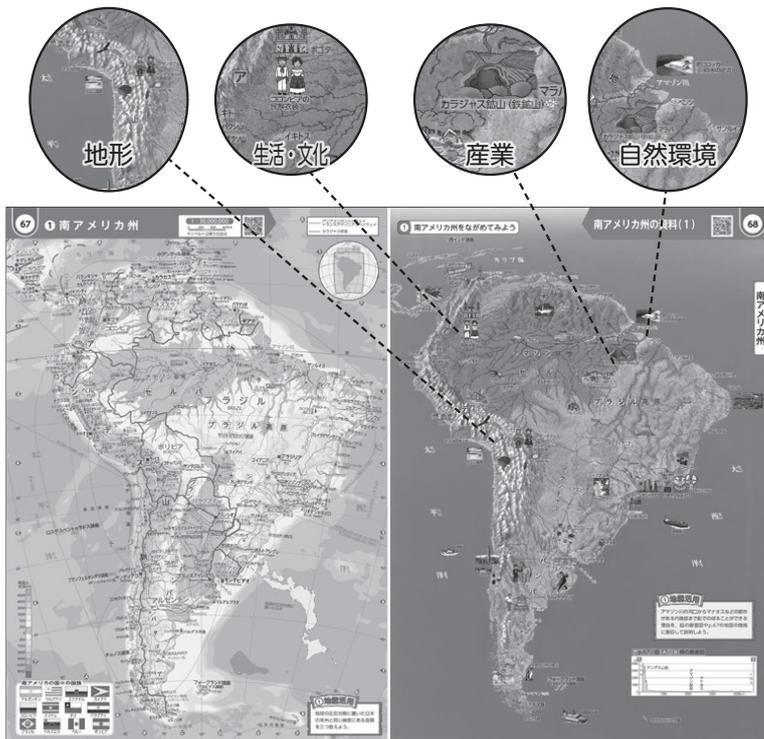
アフリカ州をながめてみよう (p.43)

ヨーロッパ州をながめてみよう (p.49-50)

北アメリカ州をながめてみよう (p.61-62)

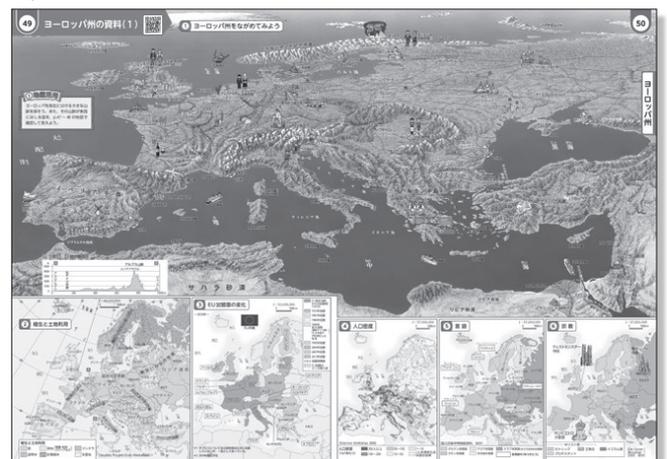
南アメリカ州をながめてみよう (p.68)

オセアニア州をながめてみよう (p.75-76)



◀ p.67-68

▼ p.49-50



2 大判のメリットを生かした、つながりが確認できる地図

- 判型をAB判からA4判に拡大。地図が大きく見やすくなり、広域なつながりを確認できるようになりました。

3 鮮明で美しい印刷と軽量化に努めた用紙

- 独自のクサ色(黄緑色)のインキを加えた5色で印刷し、田や畑などの土地のようす(土地利用)を鮮やかに表現しています。
- 軽くて耐久性に優れた新地図用紙を開発し、生徒たちの日々の持ち運びの負担にならないように配慮しています。

現行地図帳より、
15%軽い紙を使用



▲p.59-60

図取りが拡張し、カリブ海までのぞむようになりました

4 人々の営みを通した日本の国土理解ができる地図表現

- 日本の地図では“土地利用表現”と“等高段彩表現”を併用するとともに、多彩な絵記号を配することで、地域のような地域における人々の暮らし、地域で産する農産物・工業製品などが端的にわかるようにしました。

A：田は、水が得やすい大きな河川沿いの盆地に集中して広がっていることがわかります。

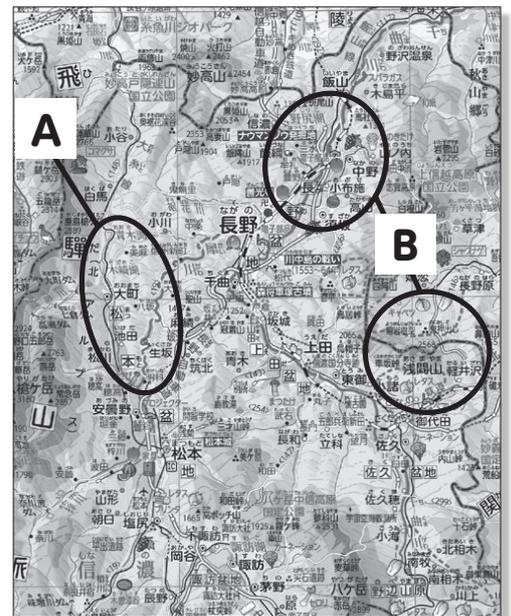
B：田の周辺のやや標高の高い場所では、レタスやキャベツなどの畑作や、りんごやぶどうなどの果樹栽培が行われていることがわかります。

- 農業や工業に関する資料図・鳥瞰図を多数設け、日本各地域の農林水産業や工業のようす、そこでの人々の努力や工夫などが理解できるようにしています。

p.132⑩「気仙沼付近の漁業のようす」
漁師が山に植林することによって、養分豊富となった湾での養殖のようすが捉えられるようになりました。



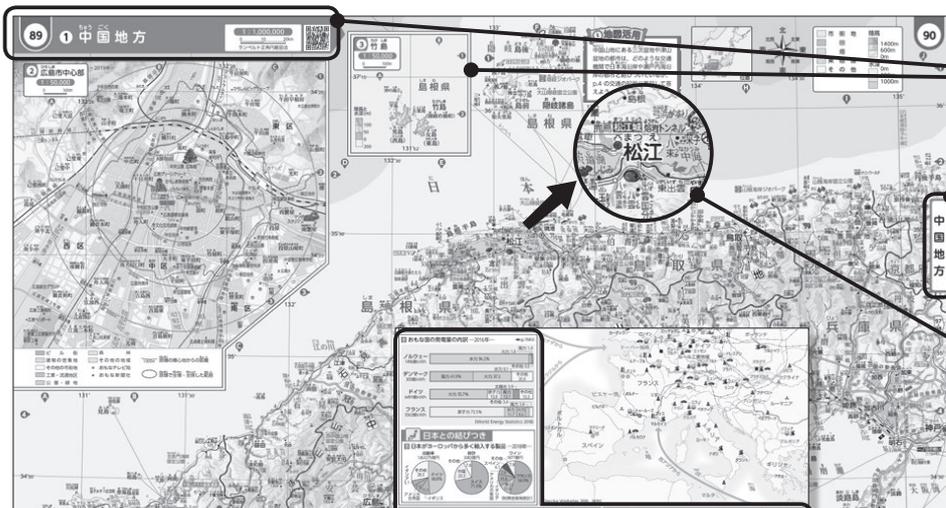
▲p.132⑩



▲p.109-110(部分)

●教育基本法第2条第2号に関する基本方針

1 ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した、誰でも見やすい地図



▲p.89-90(部分)

タイトル・ページ番号・インデックスをすぐに確認できるように大きく、それぞれの位置を固定(統一)しました。また、図と図の間の仕切り線を太くし、図のまとまりをわかりやすくしました。

誰もが見やすい地図を目指し、フォント(書体)を可読性の高いUDフォントに変更しました。また、その中でも可読性の高い丸ゴシック系を多用するようにし、国名・都道府県名・主要都市名などの重要な地名には縁取りを付けて見やすくしました。

▶p.52(部分)

地図やグラフなどの色づかいを、全面的に見直し、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)を採用しました。

2 比較を通して地域の特色がわかる世界の資料図／中核となる事象を網羅した、日本の地方別資料図

・同じ縮尺の資料図を並べ、変化や関係性などを追究できるようにしました。

→ **学習指導要領との対照表** p.2-3をご参照ください

3 主体的に学べるよう、地理的な見方・考え方やそれにつながる視点を示した作業コーナー「地図活用」

・学習活動を通して上記のような地図活用の技能(スキル)が身につくよう、随所に作業コーナー「地図活用」を設けました。

→ **学習指導要領との対照表** p.3をご参照ください

地図活用をやってみよう

この地図帳には、地図活用の技能を身につけるためのコーナー「地図活用」を各所に設けています。地図の読図や比較を通して、地図からわかることを整理したり、説明したりできるようにしましょう。右の二次元コードを読み取ると、「地図活用」の解答が確認できます。

① 地図活用
オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか。■・●図を確認して答えよう。



▶p.6(部分)

4 インクルーシブ教育への配慮

・インクルーシブ教育に配慮し、都道府県名や都道府県庁所在地名を手話で表すコーナーを設置しました。

▶p.186㉔

③ 手話で表してみよう 都道府県名や都道府県庁所在地の名称を手話で表すと、下のように表現されます。

佐賀県 大講重徳(佐賀県出身で早稲田大学を創設)の種子の弱を指します。 佐賀県を漢語の語彙にみだて、これを弾くようすです。

滋賀県 名古屋市の金のしゃちほこを示します。

名古屋市 水戸前門の長いあごひげを示します。

水戸市

●教育基本法第2条第3号に関する基本方針

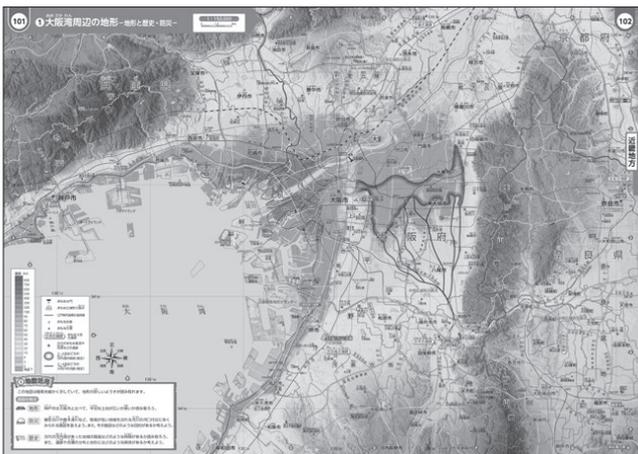
1 生徒自身が、世界のようにや諸課題について学ぶ中で、他の生徒と協力したり、社会の形成に参画したりする意識を育むことができるよう配慮しました。

- ・地図帳中に多数設けた作業コーナー「地図活用」において、生徒自らが世界の諸課題について考え、よりよいあり方について検討したり、他の生徒と話し合ったり、協働して取り組めるような課題や作業を提示しました。
- ・人口問題、資源・エネルギー問題に関する資料図を多数掲載し、世界と日本の諸課題について深く学べるようにしました。
- ・p.17「各国語のあいさつの例」など、男女のキャラクターをほぼ同数で掲載し、男女の平等を意識できるようにしました。

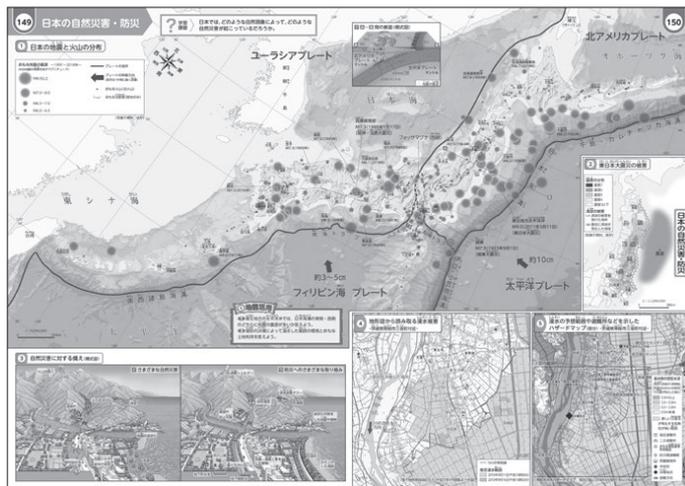
●教育基本法第2条第4号に関する基本方針

1 自然災害・防災への意識を高めるさまざまな工夫

- ・日本に起こりやすい自然災害と、それに対する対策についてわかりやすく示しました。
- ・詳細な地形から地域の防災を考えられる、15万分の1の拡大都市圏図を設けました。
- ・日本の各地方の資料図において“防災”をテーマとする資料を充実させました。



▶p.101-102



▶p.149-150

p.101-102㉔「大阪湾周辺の地形」
詳細な陸高や地形のようすから、その地域で起こりやすい自然災害とその対策、地形と人との関わりを理解できるようにしています。

p.149-150「日本の自然災害・防災」
もしもの災害から身を守ることを地形図とハザードマップから学べるようにしています。



▶p.130㉔

p.130㉔「東京都の大規模災害への備え」
都市における災害発生時の帰宅困難者対策など、人口が集中する都市部における新たな課題と対策を理解できるようにしています。

防災に関する資料

- 火山災害への備え—島原半島—(p.88㉔)
- 広島市付近にある水害の碑の分布 (p.96㉔)
- 神戸市付近のようす—災害への備え—(p.97㉔)
- 大阪湾周辺の地形—地形と歴史・防災—(p.101-102)
- 富士山噴火時の降灰予想 (p.108㉔)
- 洪水への備え (p.115㉔)
- 東京都周辺の地形—人と水の関わり・防災—(p.123-124)
- 都市型洪水への備え (p.130㉔)
- 東京都の大規模災害への備え (p.130㉔)
- 震災の被害と復興—岩手県宮古市(田老)—(p.132㉔)
- 雪にそなえる札幌市 (p.144㉔)
- 日本の自然災害・防災 (p.149-150)

2 かけがえのない自然環境の保全や、環境問題に対する関心を高められるよう、さまざまな資料を掲載しました。

※地図中で示した環境に関する凡例



世界自然遺産

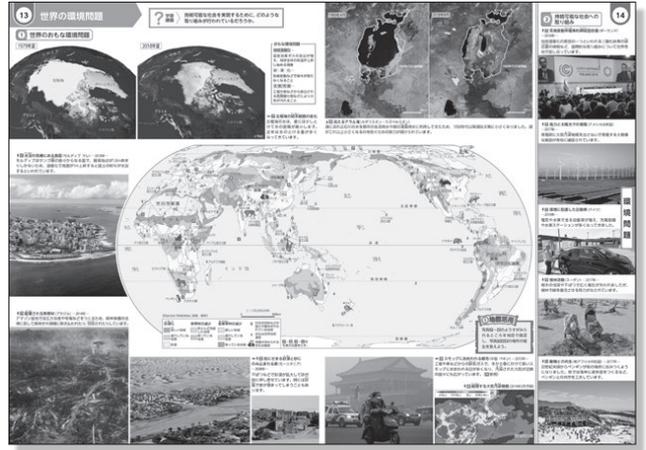


ラムサール条約登録湿地



貴重な動物・植物

p.13-14「世界の環境問題」
世界各地で起きている環境問題を地図と写真で確認でき、持続可能な社会への取り組みを含めて理解できます。



▲p.13-14

●教育基本法第2条第5号に関する基本方針

1 地域に根付いた日本の伝統文化が学べる工夫

- おもな伝統的工艺品や地場産業の絵記号、世界文化遺産の記載など、伝統・文化に関する内容を地図中に盛り込みました。
- 日本の伝統・文化に関する特設ページを充実させました。

※地図中で示した伝統文化に関する凡例



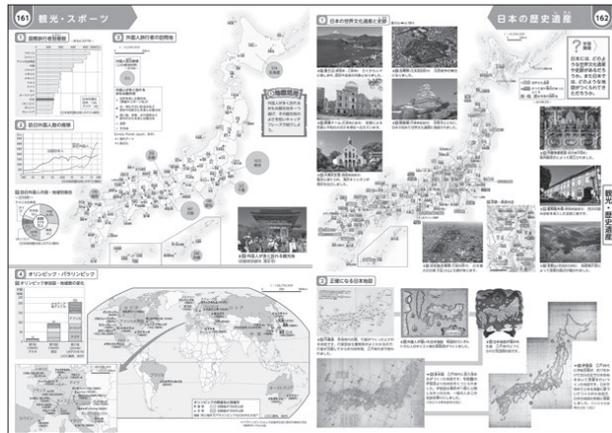
伝統的工艺品



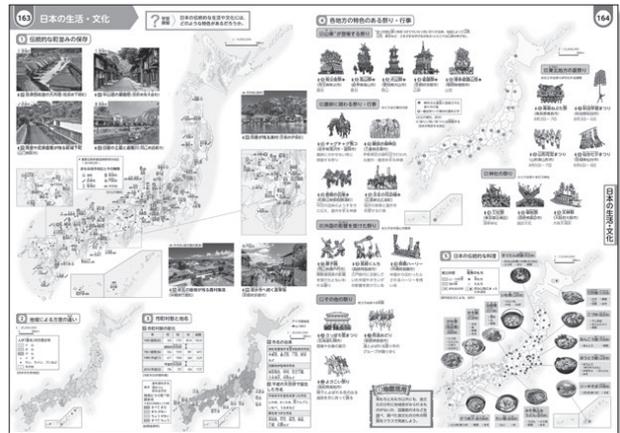
地場産業



世界文化遺産



▲p.161-162



▲p.163-164

p.164④「各地方の特色のある祭り・行事」
日本各地で続いている、伝統的な祭りとその特色が理解できるようにしました。

2 日本の領土を正しく理解できる豊富な地図資料

- 日本の領土に関する資料を充実させました。日本固有の領土は縮尺の大きな地図で確認できるようにしています。



◀p.187-188

領土に関する資料

南西諸島 (p.77-79)	尖閣諸島
日本列島 (p.80-82)	北方領土・竹島
中国地方 (p.89-90)	竹島
北海道地方 (p.141-142)	北方領土
日本の領土とそのまわりの国々 (p.187-188)	領域・排他的経済水域

日本とおもな国の国土面積・排他的経済水域面積がわかる資料を入れ、日本の排他的経済水域の規模や、重要性を考えられるようにしています。

模式図をもとに、領土・領海・領空や排他的経済水域などの概念を理解できるようにしています。

2 対照表

本書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
◎全体を通して	日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身につくようにしました。さらに、等高線を入れたり、土地利用表現にしたりすることにより、土地の高さや各地のくらしのようすを読み取れるよう配慮しました。(第1号)	本書全体
	丈夫でありながら従来のものより単位面積あたり15%軽量化した新地図用紙を特別に開発し、持ち運びの際に生徒の負担にならないよう配慮しました。(第2号)	本書全体
	色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用し、さらに地図ページ中の国名・都道府県名の赤字には、白色で縁取りをしました。また国や都道府県ごとに塗り分ける色はカラーユニバーサルデザインに配慮し、色数が多くなる場合には地紋を入れるなど色の識別がしやすくなるようにしました。(第2号)	本書全体
	作業コーナー「地図活用(全94か所)」を随所に設け、生徒が主体的に地図を読み取る力を身につけられるように配慮しました。(第2号)	本書全体
	「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「貴重な動物・植物」「天然記念物」「世界ジオパーク」の記号を地図中に記載し、世界規模で保全がなされている自然環境への関心を高められるようにしました。(第4号)	本書全体
①世界の国々 (p.1-3)	地域の時差が端的にわかるような工夫を施したり、アジア中心だけでなく、ヨーロッパ中心の地図を配したりすることで、多面的・多角的な世界の見方ができるようにしました。(第5号)	p.1-3
②地図帳の使い方・地形図の読み方 (p.4-8)	小学校の復習を含めて、地図帳を活用するための方法や、地形図を読み取るための具体的な手順を示すことで、地図帳活用の技能や、地形図の読図力を身につけられるように配慮しました。(第1号)	p.4-8
③世界の基礎資料図 (p.9-18)	「各国語のあいさつの例」に掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるようにしました。(第3号)	p.17-18
	環境問題に関わる特設ページを設け、世界の環境問題の現状、原因、対策を取り上げました。(第4号)	p.13-14
	世界の宗教や料理など、世界の文化を紹介する資料を掲載しました。(第5号)	p.15-18
④世界の基本図・拡大図 (p.19-74)	多文化共生の視点からすべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにしました。(第5号)	p.19-74
⑤世界の州別資料図 (p.21-76)	同縮尺の図を複数用意し、各図の要素を比較したり、重ね合わせたりしながら、学習を深められように配慮しました。(第1号)	p.22, 27-28 など
	中国とそのまわり・アフリカ州・ヨーロッパ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州では大きな鳥瞰図を設け、興味・関心をもって世界のそれぞれの州の学習に入れるよう配慮しました。(第1号)	p.49-50, 61-62, 68など
	世界の環境に関する資料を随所に取り上げ、環境問題への関心を高められるようにしました。(第4号)	p.28⑩など
	世界各地と日本とのつながりを示した資料「日本との結びつき」を随所に設け、国際社会に関心をもてるよう配慮しました。(第5号)	p.28⑪, 36⑦ など全10か所
⑥日本の基本図・拡大図・都市圏図・都市図 (p.77-142)	日本の政治・経済に関心をもち、公民的分野でも活用できるよう、霞が関の地図を掲載しました。(第3号)	p.126③
	各地に根付いた伝統的工芸品や、日本国内の世界文化遺産を記載し、日本の文化への関心が高まるようにしました。(第5号)	p.77-142
	北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真付きで取り上げて、日本固有の領土であることを明記しました。(第5号)	p.77-79, 80-82, 89③, 142③
⑦日本の地方別資料図 (p.87-144)	平和学習でも活用できるよう、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図を掲載しました。(第5号)	p.88⑨, 89②
	中部地方の観光地と訪日外国人など、地域の新しい資料を盛り込むことで、地域の変化のようすを捉えられるようにしました。(第1号)	p.116, 130⑤, 144など
	地理の中核となる事象である自然、人口、産業(農業・工業)、交通を示した地図を日本の地方ごとに同縮尺で掲載し、それぞれの分布や傾向性、事象間の関係性などを考案できるようにしました。(第1号)	p.87など
⑧世界と日本の基礎資料図 (p.145-164)	日本の環境に関する資料を随所に取り上げ、環境問題への関心を高められるようにしました。(第4号)	p.105⑥⑦など
	日本の地方ごとに自然災害と防災に関する資料を掲載し、多様な災害と対策・防災を捉えられるようにしました。(第4号)	p.88⑫, 96⑨, 132⑫など
	少子化・高齢化や資源・エネルギー問題など、現在の社会が直面する課題についての資料を掲載し、社会の一員として、公共の精神や、社会の参画に対する意識を高められるようにしました。(第3号)	p.151-152など
	日本の地形や世界自然遺産、国立公園、世界ジオパークなどの分布がわかる図を集めたページを作成し、日本の自然環境についての基礎的知識が身につくようにしました。(第4号)	p.145-146
⑨統計資料・さくいん (p.165-185)	日本全体の災害と防災に関するページを掲載し、災害の種類や分布を理解するだけでなく、地形図やハザードマップの見方を身につけることで、地域社会の一員として防災への意識を高められるようにしました。(第4号)	p.149-150
	日本の各地に伝わる伝統・文化に関する資料図を設けました。(第5号)	p.163-164
⑩都道府県と昔の国名・日本の領土とそのまわりの国々 (p.186-188)	統計資料やさくいんを充実させ、授業以外においても、生徒自ら活用できるように配慮しました。(第2号)	p.165-185
	インクルーシブ教育に配慮し、都道府県名などを手話で表す「手話で表してみよう」を設置しました。(第2号)	p.186③
	日本の領土や排他的経済水域を見開きの地図で大きく掲載しました。また、東西南北端の島については写真と地図を併用してわかりやすく示しました。(第5号)	p.187-188

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-41	中学校	社会科	地図	1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
46帝国	702	中学校社会科地図		

1 編修上特に意を用いた点や特色

●学習指導要領に関する総合的な基本方針

○生徒が興味・関心をもって、日本・世界の諸地域への理解を深められる地図帳

はじめて地理を学ぶ中学生が、興味・関心をもちながら、日本の国土理解、世界の諸地域への理解を深められるよう、以下のような特色を備えた地図帳を編修しました。

日本と世界の理解が
深まる地図帳

誰でも見やすく
使いやすい地図帳

資料活用能力を高め、
主体的に学べる地図帳

総則第2 「教育課程の編成」に関わる特色

●教科等横断的な活用ができる地図帳

・社会科以外の教科でも活用できるように工夫しています。例えば、国名や主要都市名などの欧文表記を英語科で活用したり、地震の震源とプレートが確認できる資料図を理科で活用したりすることができます。

●発達段階に応じた、適切な情報量・表現を追究

・中学生が興味をもって地図学習に入れる鳥瞰図やイラストを充実させています。小学校の地図帳よりも地図から読み取れる内容を充実させ、社会科学習だけでなく、さまざまな場面でも地名辞書として活用できるようにしています。

総則第3 「教育課程の実施と学習評価」に関わる特色

●「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫

①見方や使い方が身につく地図帳

・地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方をわかりやすく解説したページや、実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身につけられるコーナーを巻頭に設けました(p.5-8)。

②地理的な見方・考え方が身につく作業コーナー「地図活用」

・生徒が主体的に取り組みながら、地理的思考を育めるコーナーを設置しました。

→ p.3をご参照ください

③学習を支援する二次元コードを各所に設置

・パソコンやタブレット端末を用いて専用サイトにアクセスし、地図帳を補完する資料を閲覧できるようにしています。

▶p.6(部分)

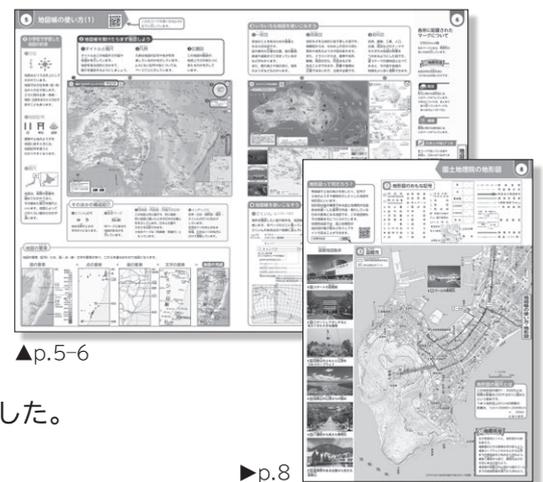
二次元コードを使おう

ページタイトルの横にある二次元コードをタブレット・パソコンなどで読み取ると、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができます。

※二次元コードをタブレット・パソコンなどで読み取り、表示されたインターネットのサイトにアクセスした際には通信料がかかる場合があります。

※下のアドレスを入れてコンテンツメニューを見ることができます。

https://rict.teikokushoin.co.jp/d/text_03jh/chizu/index.html



コンテンツの内容

- ・小学校の復習をしよう ・地図活用解答
- ・世界州別衛星画像、鳥瞰図 ・日本地方別地図
- ・日本基礎資料図 ・統計コンテンツ
- ・地図クイズ、ほか

総則第4 「生徒の発達の支援」に関わる特色

●インクルーシブ教育への配慮

・インクルーシブ教育に配慮したコーナーを設置しました。

→ **教育基本法との対照表** p.3をご参照ください

●興味・関心をもって、日本・世界の諸地域への理解が深められる地図帳

①地域の実態がわかる100万分の1の縮尺と“土地利用+等高段彩”で表現した「日本の拡大図」

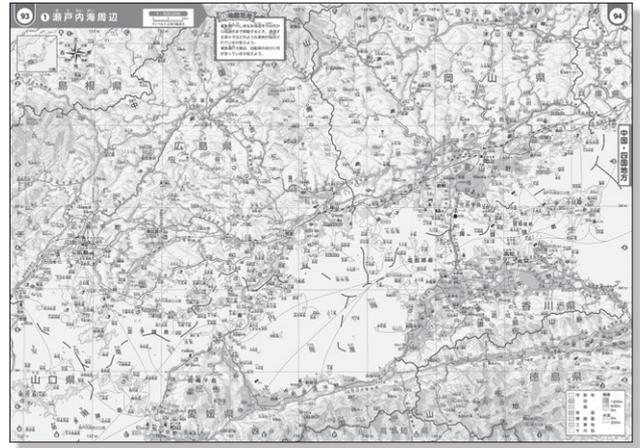
- 日本の地方別地図は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の8地方に区分し、100万分の1の縮尺で統一しています。さらに、鹿児島・沖縄の島嶼部、北陸の地図などを設けました。また大都市周辺部は、50万分の1で統一した都市圏図を設け、政令指定都市はすべてカバーしています。
- 国土理解につながるよう、地域のくらしや産業が見える“土地利用表現”と、地形が見える“等高段彩表現”を合わせた地図表現を採用しています。

→ 教育基本法との対照表 p.2をご参照ください

- 地域の産業や、特産物が読み取れる「絵記号」を多数掲載しました。収量の顕著な農産物や、大きな工場、伝統的工芸品など、地域の産業のようすをより具体的に捉えることができます。



▶p.94(部分)



▲p.93-94

新設した日本の地図ページ

- 鹿児島・沖縄の島嶼部(100万分の1, p.79⑤~⑪)
- 瀬戸内海周辺(50万分の1, p.93-94)
- 福井県・石川県・富山県(100万分の1, p.117-118)
- 新潟市とそのまわり(50万分の1, p.118③)
- 札幌市とそのまわり(50万分の1, p.140②)

②防災や産業などの視点で読図できる拡大都市圏図を設置

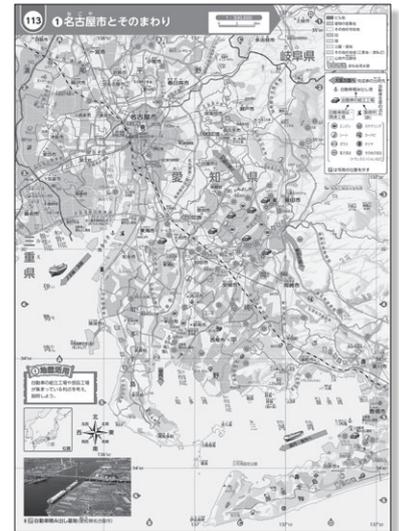
- 大阪、名古屋、東京については、縮尺を拡大した都市圏図を設けました。学習テーマ(主題)を設定し、社会科の学習に直結する内容を確認できるようにしました。

拡大都市圏図一覧と学習テーマ

- p.101-102 大阪湾周辺の地形 (15万分の1, 地形と歴史・防災)
- p.113 名古屋市とそのまわり (30万分の1, 自動車工業)
- p.123-124 東京都周辺の地形 (15万分の1, 水と人の関わり・防災)



▶p.123-124



▲p.113

●気候と農業の関係性など、地理的な見方・考え方が身につく地図帳

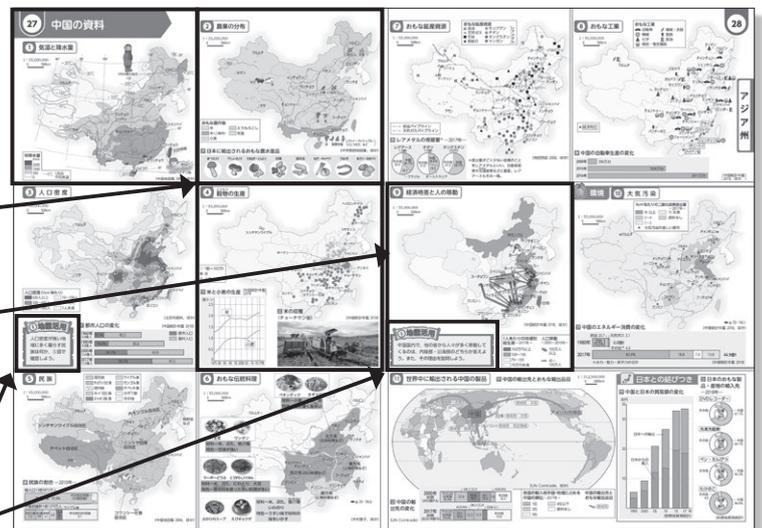
①比較を通して地域の特徴がわかる世界の資料図

- 自然環境(地形・気候)、人口密度、言語、産業、日本との結びつきに関する資料などを国や州ごとに同縮尺で豊富に掲載しました。
- 各州の主題や地球的課題に対応した資料図も充実させました。

気候(気温と降水量)と農業を比較することで、例えば稲作は温暖で降水量が多い地域に多く見られることが読み取れます。

地球的課題の一つである人口問題に関して、中国の人口動態における資料図を設置しました。

作業コーナー「地図活用」の問いで地球的課題を深く追究することができます。



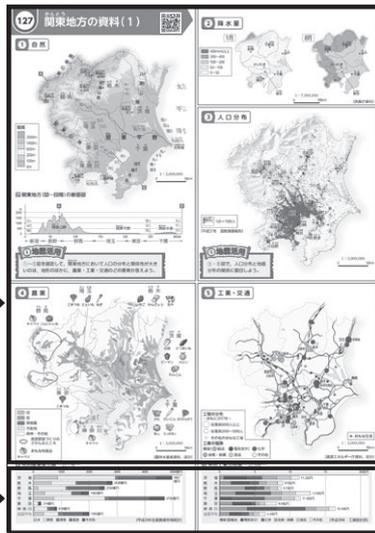
▲p.27-28

②中核となる事象を網羅した、日本の地方別資料図

- 各地方の冒頭に、自然環境、人口、産業、交通の4つの中核となる事象を網羅した①自然(地形)、②気候、③人口密度、④農業、⑤工業・交通の5図を設けました。

事象ごとに同縮尺の地図を並べることで、それぞれの分布や事象間の因果関係を比較しながら考察できるようにしました。

農業図と工業図には付図として都道府県別の品目別出荷額・産出額の棒グラフを添付し、都道府県・地方の産業の特徴を捉えられるようにしました。



▲p.127



▲p.88⑩

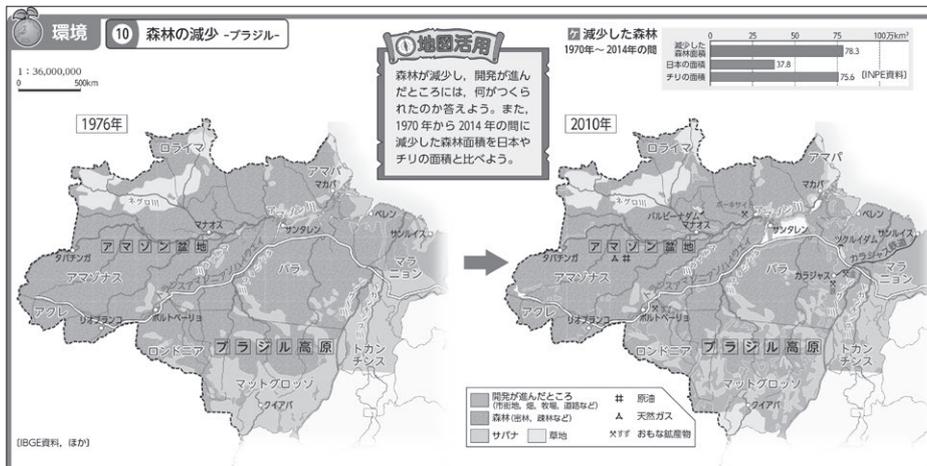


▲p.96⑨

各地方の資料の中に、防災にクローズアップした資料図を追加しました。

③読図をサポートする作業コーナー「地図活用」を新設

- 地図帳で培うべき地理的な見方・考え方を体系立てて整理し、それを育成する問いを配した作業コーナー「地図活用」を設置しました。資料図ページでは、世界の主題や地球的課題、日本の中核となる事象を深める、いくつかの図を関連させて読み取る問いを入れて、授業で資料図を活用する際の発問になるようにしています。また、一般図のページにも地域的特色を読み取る問いを入れて、地理的な見方・考え方の育成につながるようにしました。
- 生徒が自学自習でも主体的に活用できるように、地図帳から答えを導き出せる問いを中心に配置しました。二次元コードで解答も用意しています。

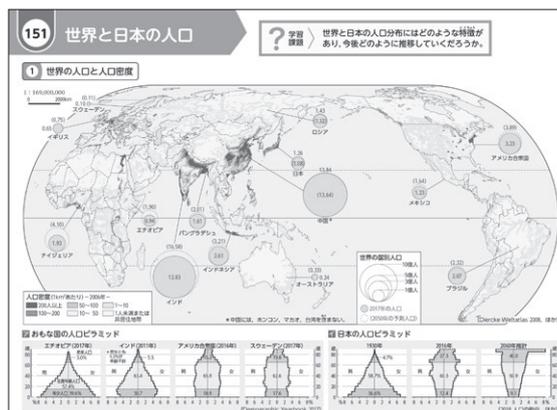


◀p.70⑩

④わかりやすく工夫した、世界と日本の基礎資料図や統計資料

- 社会科学習で必要な自然環境や防災・人口・資源・農業・工業などを扱った見開きの基礎資料図を用意しています。観光やオリンピック・パラリンピックなど新しい話題も入れて刷新しました。

- 数値的に地域の特徴や違いを捉えるための統計資料は、巻末にまとめて掲載し、地方別・項目別に色分けして見やすく、わかりやすくしています。また、統計をより有効に活用できるよう、上位国・上位県の数値を赤字で示し、着目点をわかりやすくするなど、比較しやすくしています。



▲p.151①



▲p.170③(部分)

地図帳全体の特色表

観点	観点の内容	本書の特色
内容の選択及び扱い	正確かつ公正であり、多面的・多角的に考察することで社会的な見方や考え方の基礎を養えるよう配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領(地理的分野)の、世界の諸地域学習における「主題」および「地球的課題」、日本の諸地域学習における地方ごとの「考察の仕方(地方ごとの中核となる事象)」について、授業の実態に応じた幅広い学習に対応できるように、また地域の特色が偏らずに理解できるように、多角的に地図・資料が選定されている。
	生徒の興味・関心に対する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 中国とそのまわり、アフリカ州、ヨーロッパ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州では、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した大鳥瞰図が設けられ、生徒の興味・関心を喚起させる工夫がなされている。
	自主的・自発的な学習を指導する上でより適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」ページにわかりやすく解説されているため、自学自習の際の指針となる。 地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナー「地図活用」が自学自習に役立つよう配置されている。
	「持続可能な社会」の実現に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「防災」「環境」「日本との結びつき」のテーマをもたせた特設資料図が掲載されており、現在および将来の社会が直面する課題および持続可能な社会について考えることができるようになっている。 日本の生活文化の例として、「伝統的な町並みの保存」「各地方の特色のある祭り・行事」の資料などが地図と豊富な写真で掲載されている。
内容の程度	内容の程度・範囲及び文章は、生徒の心身の発達段階と特性に適しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図中の「都道府県名」と「都道府県庁所在地名」に、国語科で学習する「とめ・はね・はらい」などが正しい字形となる書体が用いられている。 地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるよう配慮がなされている。 学習上とくに重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、国際化への対応ができています。 「国名」や「首都名」、「都道府県名」や「都道府県庁所在地名」など、学習上とくに重要な地名は大きく太い文字で記載され、「国名」や「都道府県名」は他の地名よりも目立つように白色で縁取りを付して読みやすくしている。
	小学校との接続に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で身につけた技能を生かせるよう「地図帳の使い方」が具体的に示されている。 小学校からの接続が円滑に進められるよう、鳥瞰表現を用いた立体主題図などの親しみやすい表現の地図が掲載されている。 小学校用地図帳の作業コーナーを、発展、深化させる形で「地図活用」が設置され、地図帳の使い方や地理的な見方・考え方が系統的に身につくように配慮されている。
内容の構成及び配列	構成及び配列は、学習指導上、より適切かつ効果的であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領(地理的分野)に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選定されている。また、表現も通常の地図に加え、視覚的に捉えやすい鳥瞰表現を多用し、内容が焦点化され、理解しやすくなっている。 世界の州、日本の地方はいずれも、それぞれの地域の特色を具体的に読み取れるよう「一般図」→「資料図」という配列で構成されている。
	統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られるなど活用するにあたり効果的であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料は、巻末にまとめて掲載され、地方別、項目別に色分けがなされているため、数値的に地域の特徴や違いを捉え説明しやすく配慮されている。 世界の地図は黄緑色と茶色で、高さごとに色分けした等高線彩表現を用い、土地の起伏感が捉えられるように工夫がなされている。日本の地図表現では、国土理解につながるよう、地域のくらしや産業が見える土地利用表現と、地形が見える等高線彩表現を合わせた地図表現がなされている。 地形のようすが捉えやすいよう、等高線彩表現にレリーフ(陰影)表現を合わせた立体感あふれる地図表現がなされている。
創意工夫	選択、扱い、構成、配列、表現などに、適切な創意工夫が認められるか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の拡大図(地方別地図)は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の8地方に区分され、各地方のようすが読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されている。 他のページに関連した内容の資料図がある図版には、参照ページが付記されている。 世界・日本のページの右端に、州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいように配慮されている。また、タイトルを原則左上に固定して配置し、生徒が確認しやすいように配慮されている。
使用上の便宜	判型、印刷、製本が学習指導上、より適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> 大判の判型(A4判)を生かし、地域を学ぶ際に最も適切な図取りとなるよう配慮されている。 生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、従前より15%軽い紙と軽量の製本様式が用いられている。
	紙質や印刷の鮮明度などは良好で、利便性に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図・写真を美しく鮮明に表現するために、地図専用の特殊な用紙を使用するとともに、クサ色(黄緑色)の特殊インキも加えた多色刷り(5色)で印刷している。また、地球環境に配慮して、再生紙と植物油インキを使用している。
	製本は3年間の使用に耐える仕様であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 製本は、ページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられるとともに、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様である。
	特別支援教育・カラーバリアフリーへの配慮が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 色覚に特性のある生徒でも色を識別して地図が読めるように、カラーバリアフリーに配慮し、色彩表現への工夫がなされている。 赤文字で記された都道府県名・国名については、読みやすいよう白色で縁取りされている。 土地利用表現の色の下に模様(地紋)が入っており、色の違いを識別しやすくしている。また、陸高の違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。

2 対照表

本書の構成・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容
◎全体を通して	<p>【地理的分野】…充実した世界の地図、資料図から、世界に関する地理的認識を深める。また、さまざまな地域の事象を示した日本の地図、資料図から、国土認識を深め、地域的特色を動的に捉える。資料は多角的に題材が選定され、地域的特色を偏らずに理解することができる。</p> <p>【歴史的分野】…日本・世界の一般図に示された「重要な歴史地名・事項」から、我が国とそれに関連する世界の歴史の大きな流れを、現在と重ね合わせて捉える。</p> <p>【公民的分野】…世界の地図や資料図から、世界全体や諸地域の課題を把握し、国際協調の取り組みの重要性を認識する。</p>	
①世界の国々 (p.1-3)	<p>【地理的分野】…世界の大陸や海の分布、国々の位置関係、生活環境、諸地域のように大きく掲載され詳細に捉えられる。我が国の国土の位置や世界との時差などを把握する。</p> <p>【公民的分野】…世界の国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割を理解する。</p>	A(1) B(1) (2) D(1)
②地図帳の使い方・ 地形図の読み方 (p.4-8)	<p>【地理的分野】…地図帳の使い方、地形図の読み方を身につける。世界各地の人々の生活と環境、諸地域的特色などを調査し、理解する。世界と比べた日本の地域的特色を大観し、諸地域のようにさまざまな観点から考察する。</p>	A(1) B(1) (2) C(2) (3)
③世界の基礎資料図 (p.9-18)	<p>【地理的分野】…世界のさまざまな地域と人々の生活から、諸地域の多様性や地域的特色、地球的な課題を捉える。日本の地域的特色の学習にも世界の中での日本の特色を捉える観点で活用する。</p> <p>【公民的分野】…世界の文化や宗教の多様性を知り、国際協調について考える。</p>	A(1) B(1) (2) C(2) D(1)
④世界の基本図・拡大図 (p.19-74)	<p>【地理的分野】…世界の多様な地域と生活を、おもに州ごとに大観しながら捉える。</p> <p>【歴史的分野】…各時代の世界の歴史の大きな流れを捉え、それらが日本の歴史にどのような影響を与えたか、世界との関連を通して日本の歴史を捉える。</p> <p>【公民的分野】…紛争地域やさまざまな問題を抱える世界各国の状況から、国家間の相互理解と協力、国際機構の重要性について捉える。</p>	A(1) B(1) (2) B(1) (2) (3) C(1) D(1)
⑤世界の州別資料図 (p.21-76)	<p>【地理的分野】…世界の諸地域の多様性や地域的特色を、おもに資料や統計などを用いて州ごとに大観する。世界と比べてみた日本の特色の理解にも活用する。</p> <p>【歴史的分野】…古代からの大陸と日本との関わり、文化の影響などを捉える。</p>	A(1) B(1) (2) C(2) B(1) (2)
⑥日本の基本図・拡大図・ 都市圏図・都市図 (p.77-142)	<p>【地理的分野】…日本全体の特色の大観と諸地域の地域的特色を、おもに地方別に捉え、国土の認識を深める学習につなげる。</p> <p>【歴史的分野】…日本の一般図に掲載された「重要な歴史地名・事項」や地域的特色を示す資料図から身近な地域の歴史への関心を高める。大阪や江戸の都市図から、経済、文化の中心となったようすを読み取る。</p>	A(1) C(1) (2) (3) B(3)
⑦日本の地方別資料図 (p.87-144)	<p>【地理的分野】…日本の諸地域の地域的特色を、鳥瞰図や統計、資料などを用いて地方ごとに大観したり、比較を通して変化や因果関係を考察したりする。身近な地域の調査にも、資料の観点を役立てる。</p> <p>【歴史的分野】…地域的特色を示す資料図から身近な地域の歴史への関心を高める。</p>	A(1) C(1) (2) (3) (4) A(2) B(3)
⑧世界と日本の 基礎資料図 (p.145-164)	<p>【地理的分野】…世界の諸地域の特色を世界全体の資料図から大観し、また日本と比べることで、日本の地域的特色を捉える。</p> <p>【公民的分野】…日本の社会の特色を捉え、世界全体の課題の解決のために国際協調が必要であることを学ぶ。</p>	A(1) B(2) C(2) (3) A(1) D(1)
⑨統計資料・さくいん (p.165-185)	<p>【地理的分野】…世界のさまざまな地域、日本の諸地域について、統計などの資料からその特徴を捉える。</p>	A(1) B(1) (2) C(1) (2) (3) (4)
⑩都道府県と昔の国名・ 日本の領土と そのまわりの国々 (p.186-188)	<p>【地理的分野】…我が国の国土の位置や領域、地域区分について、正しく理解する。</p> <p>【歴史的分野】…昔の国名の地図から、廃藩置県以前の日本の地域区分を捉える。</p>	A(1) C(2) C(1)